

羽咋郡市大会を前にして

郡市大会を前に、ゴールデンウィークも後半となる今、どの部活動も放課後の練習が熱を帯びてきました。4月18日に1年生を含めた新チームとして発足した各部は、5月3日の剣道競技から公式戦の火ぶたが切られることとなります。各チームの練習時間は十分でなかったと思いますが、これまでの練習の成果を強く実感できる大会であってほしいと願っています。選手の健闘を心から祈りたいと思います。

1月1日の発災以降、特に奥能登地区の学校の部活動ができない状況が続いていましたが、4月に入り、ようやく練習を再開したと聞いています。3年生にとっては、3年間の部活動の集大成として、一戦一戦を大切に、今後開催される能登地区大会や県体予選、そして県大会に向けて、奥能登の学校とは違って、変わらず部活動ができた喜びをかみしめながら、試合に臨んでほしいと思います。保護者の皆様には、生徒たちの日々の頑張りを褒め、励ますとともに、試合当日には、ぜひ会場に足を運んでいただき、大きな声援をお願いします。

郡市大会の試合の予定については、以下のとおりです。

種 目	開 催 日	会 場	開会式
剣 道	5月3日(祝)	羽咋市武道館	9:00
軟 式 野 球	5月11日(土) 予備日:12日(日)	志賀町野球場	8:00
男子ソフトテニス	5月11日(土) 予備日:12日(日)	羽咋運動公園テニスコート	8:10
女子ソフトテニス	5月11日(土) 予備日:12日(日)	志賀町テニスコート	8:10
男子バスケットボール	5月11日(土)	志賀町総合体育館	8:00
女子バスケットボール	5月11日(土)	志賀町総合体育館	8:00
女子バレーボール	5月11日(土)	宝達中学校体育館	8:30
男 子 卓 球	5月11日(土)	羽咋体育館	8:40
女 子 卓 球	5月11日(土)	羽咋体育館	8:40
弓 道	5月11日(土)	羽咋運動公園弓道場	9:00
相 撲	※今年度は中止	—————	—————



栄光の足跡

○第8回石川県中学生春季弓道大会

女子団体2位 羽咋A 河崎 怜 宮下 美雨 中條 那砂
女子個人2位 河崎 怜 宮下 美雨



学校内外の行事から

◇入学式（4/5）

101名の新入生の入学式を行いました。保護者と在校生が見守る中、緊張の面持ちで式に参加した新入生たちを厳粛な中にも温かい雰囲気で見守ることができました。中学校3年間にたくさんのことを吸収し、心も体も大きく成長できたと実感できるよう日々努力し、充実した中学校生活を送ってほしいと願っています。



◇1年 交通安全・防犯教室（4/11）

1年生を対象にして交通安全・防犯教室を実施しました。羽咋警察署交通課と生活安全課の担当者の方々から講話をしていただきました。お話から、自転車の乗り方を中心とした交通ルールの再確認と最近よく話題となっているSNSに関わるトラブルや万が一の時に際しての簡単な護身術を教えてくださいました。参加した1年生たちは、自分事としてとらえて、真剣に話を傾けていました。



◇なぎさクリーン運動（4/14）

生徒、教職員約120人が、各地区の清掃場所に集合してなぎさクリーン運動に参加しました。およそ1時間、千里浜海岸の清掃活動に汗を流しました。昨年は悪天候のため中止となっていましたが、今年は早朝の清々しい空気の中、一生懸命にゴミを拾う生徒たちの姿が見られました。



◇3年修学旅行（4/21～4/23）

21日(日)～23日(火)の3日間、大阪・京都方面の修学旅行を実施しました。神戸SDGs企業研修では、各会社で働く方々の仕事について考えるなどキャリア教育と持続可能な社会を目指したSDGsの取組についての2つの視点から研修を行いました。中学校生活の最高の思い出として、大いに楽しむとともに、学びのある旅行を達成することができました。



◇生徒総会（4/30）

生徒総会が行われました。生徒会執行部、各専門委員会の委員長から令和6年度前期の活動方針が全校生徒に提案され、丁寧な質疑応答の後、全校生徒による承認を得ました。また、生徒会執行部からは、令和6年度前期を象徴する漢字として「進」が示されました。「進めよう 学校を一步先へ」のスローガンのもと充実した学校生活を送ってほしいと思います。



1学期の主な行事予定

5月3・11日	羽咋郡市総合体育大会
5月24日	全能登陸上競技大会
5月30日	中間テスト
6月8・9・15・16日	全能登総合体育大会
6月24・25日	期末テスト
6月29・30日	県陸上競技大会
7月6・7日	県総合体育大会
7月13・14・15日	
7月20・21日	終業式
7月19日	県吹奏楽コンクール
7月21日	通知表渡し
7月22・23日	わく・ワーク
7月24～26日	

※5月1日現在の予定です。変更がありますので、その都度確認願います。

編集後記

誰もが一度は耳にしたことのある金子みすゞさんの代表作の一節「みんなちがって、みんないい」。100年もの時を超えて、あなたはあなたでいいとのメッセージが柔らかく伝わってきます▼学校においては、いつの間にか男女の区別なく「さん付け」で呼び、混合名簿となり、技術・家庭科を皆で学ぶなど子どもたちの人権やジェンダー、多様性にも配慮しながら少しずつ変わってきたように思います▼「こどもの日」を楽しみにしている生徒は少ないと思われかもしれませんが、こどもの人格を重んじ、何よりもこどもの幸福を実現するという制定の趣旨を踏まえて、学校においても引き続き指導に当たっていきたいと思います。(宮下)